春陽會ニュース

埃及の絵画を見る

伊藤慶之助

巴里ルーブル及び巴里ギメー国民美術館に、Portrait funéraire と称される埃及の柩の蓋に描かれた肖像のコレクションがある。

一人物すなわち位いの坂、又は布にてしスコ風の絵具、ざわめて単純化されたプリミチーブな技法で男や女、子供などが描かれている。西紀一世紀から五世紀頃（ギメー若しくはルーブル）にかけ、グンチノエにより木乃伊の顔に当るところに、死者のかなりの愛着を信仰から生前の似顔としてはめ込まれたものである。

古代埃及人は肖像に不滅の魂が宿ると信じたので、種々の象徴物を墳墓や墳墓の壁に飾ることにした。この偶像に於て、絶えず動行が新にされる必要があり、それが故奇々の目にする似顔より彫刻をリは肖像の中枢を持ち込めた図解の経典のようなものであったので、この柩蓋の肖像も普通の意味での肖像ではない。

肉体の描写や細部の形式の表現は、むしろ和歌などのデリケートな技術を表現したやりかたに見えるが、その単純な輪郭で巧みに多くの特徴を示している。

絵の神秘は近代人の想像力のあらはれいもかであるが、その表現力は奇々の感覚器官及び精神に非常に感動的な歌がなあたえ、しかも近代美術によってのみ得る抽象の性質をもつた歌かに近いものがある。

これは埃及人の特性ともいう紀律と調和単純を尚び好む幾型感に対する先天的な感覚能力、このような特質にシテ、普遍的な價値をもつ造型的な表現手段を知っていたのであろう。その造型上の基本的な感覚が、地理的な言語を超えて奇々に調和の美、生々しい横溢単純なれど最繊細な表現を分得させ、奇々に感動をあたえることになるのであろう。

× ×

ルーブル美術館に収蔵されている若い婦人を描いた二四の肖像は、純粋造型的な面からも全く近代美術としての魅力をそなえている。ここに一九〇五年頃のマチスの魅力に匹敵するものがある。

マチスの一九〇五年の作 Femme au chapeau 仝年の Portrait à la raie verte それに一九〇六年の作 Odalisque などは埃及の柩蓋のこの影響がけんちょに現われている様に思う。

それから文献のコンポジション で一九〇六年作 Bonheur de vivre は「メンナ墳墓から出土した壁画、浮彫拾いの少女、ネフト墳墓から出土した壁画、ネフルタリ」（ベトリーの古代エジプトの美術参考）などの表現に近似している。

× × ×

ペナ人の使年ヴリンヤの影響を受けた一九一二年の作 Le Bonheur de vivre、ことに埃及の影響を受けた前記の作品を比較すると図式的な平面描写法に於ては似ているが、なかなか興味深い相違を見出すのである。

春陽会水上選手権大会

春陽会水上チームは八月二十七日折からの快天に乗じて逗子海岸に遠征、各選手夫々熱技を振う。成績左の如し

男大学海軍選手、旧水夫里 平米 六点。二番ホーイスカット選手、お嬢さん向背泳クロール七点。加山OB選手三日センに悩みしに拘らず細洋各泳法九点。地元宮田選手潜水浮游その他八点。遠藤横泳、前飛各選手出場棄権 〇点。伊川、南南OB選手、ブンドシにて技を競う。横塚選手は逆泳に惜かれ、細田坂光選手は逆下飛込を示して人々水面にて腹を裂きしいあらずやこ吸く。古水水会師範は、書記流水法創始者倉田三郎とする。尚このスポーツチームは毎年夏季水泳を年中行事としてやろうと云っている。水泳班長金田、スキー班長小谷、